

- 問1 世界の地形は、地殻変動の活発さによっていくつかの地域に分けられます。北アメリカ大陸西側のロッキー山脈周辺と、ヨーロッパ中央部の平原の地形的な違いを説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ロッキー山脈周辺はプレートの内部に位置するため、中央平原に比べて火山活動が活発で標高が低い。 | 2. ロッキー山脈周辺は地震や火山活動がほとんどない安定陸塊であり、中央平原に比べて地盤が安定している。 | 3. ロッキー山脈周辺は浸食が進んだ古期造山帯であり、中央平原に比べてなだらかな山地が広がっている。 | 4. ロッキー山脈周辺はプレートの動きが活発な新期造山帯であり、中央平原に比べて地形が険しく標高が高い。 |
|---|--|--|--|
- 問2 北アメリカ大陸の西部に位置し、環太平洋造山帯に属する、険しく高い山々が南北に連なる大山脈の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. ロッキー山脈 | 2. ウラル山脈 | 3. アンデス山脈 | 4. ヒマラヤ山脈 |
|-----------|----------|-----------|-----------|
- 問3 メキシコで生産される自動車の約28%を日系企業が占め、生産された自動車の約69%がアメリカ合衆国へ販売されている現状があります。また、アメリカ合衆国が輸入する自動車の関税率は日本からが2.5%、メキシコからが0%です。これらの状況から読み取れる内容として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アメリカ合衆国は関税率が高いメキシコからの輸入を減らし、日本からの輸入を増やしている。 | 2. 日本企業は関税のかからないメキシコで生産することで、アメリカ合衆国へ有利に自動車を販売している。 | 3. 日本企業は日本国内への逆輸入を目的として、メキシコでの自動車生産の割合を高めている。 | 4. メキシコで生産された自動車は関税率が高いため、アメリカ合衆国ではなく主に日本へ販売されている。 |
|--|---|---|--|
- 問4 アメリカ合衆国の西経100度付近にある年間降水量約500mmの等降水量線付近では、土地の乾燥を克服するために「センターピボット」と呼ばれる灌漑施設が導入されています。この農業方式の仕組みと環境条件について述べた文として、最も適切なものを答えなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. ミシシッピ川の豊富な地表水を水路で引き込み、雨水のみに頼らない伝統的な棚田での稲作を行っている。 | 2. 熱帯低気圧がもたらす多量の雨水を貯水池に蓄え、それを利用して広大な円形の水田を維持している。 | 3. 年間降水量が1000mmを超える湿潤な気候を利用し、自走式のスプリングローで効率的に肥料を散布している。 | 4. 地下水をくみ上げ、回転式のスプリングローで散水することで、降水量の少ない地域での大規模な耕作を可能にしている。 |
|---|---|---|--|
- 問5 世界の大陸の気候帯の特徴について、亜寒帯（冷帯）が約43%、寒帯が約23%と、この2つの気候帯を合わせると全体の約3分の2の面積を占める大陸として適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. ユーラシア大陸 | 2. 北アメリカ大陸 | 3. アフリカ大陸 | 4. 南アメリカ大陸 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問6 アメリカ合衆国のICT企業は、インドの企業と連携してソフトウェア開発を行うことがあります。西経90度付近に位置するアメリカ合衆国と、東経90度付近に位置するインドの地理的な関係を活かした、開発体制の利点として最も適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 緯度がほぼ同じで気候や季節の変化が共通しているため、農産物の輸出入と開発業務を連動させやすい点 | 2. 両国ともに標準時子午線が同じ経度にあるため、時差を全く気にせず会議を行える点 | 3. 地理的な距離が非常に近く通信の遅延がほとんどないため、リアルタイムでの共同作業が容易である点 | 4. 経度の差が大きく昼夜がほぼ逆転しているため、時差を活用して24時間絶え間なく業務を継続して行える点 |
|--|---|---|--|
- 問7 日本の小麦の輸入先について、アメリカ合衆国が輸入量全体の半分以上を占めていますが、これに次いで輸入全体の約27%を占める、日本にとって重要な貿易相手国はどこですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------------|---------|--------|
| 1. 中国 | 2. オーストラリア | 3. フランス | 4. カナダ |
|-------|------------|---------|--------|
- 問8 アメリカ合衆国における特定の民族集団に関する説明として、スペイン語を母国語とする中南米からの移民（ヒスパニック）の特徴や社会的背景を正しく述べているものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 19世紀以降に中国や日本などから西海岸に移住し、農業や鉄道建設の労働力として活躍した人々のことを指す。 | 2. 北アメリカ大陸に古くから定住していた先住民であり、現在は保留地と呼ばれる特定の地域で独自の文化を守りながら生活している。 | 3. 建国期にイギリスから移住し、キリスト教のプロテスタントを信仰することでアメリカ社会の中心的役割を担ってきた。 | 4. 地理的に隣接するメキシコなどから労働力を求めて流入しており、アメリカ最大のマイノリティ（少数派）集団となっている。 |
|--|---|---|--|
- 問9 2000年から2008年にかけてのアメリカ合衆国における地域別の経済統計において、南部は国内総生産が国内全体に占める割合が増加傾向にありました。この時期の南部の経済および人口動態の特徴を説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 北東部と比較して人口増加率が高く、製造業の生産額割合が他地域と比較しても最も高い。 | 2. 国内全域で人口増加率に地域による差は見られないが、南部のみ製造業の生産額割合が極端に低い。 | 3. 金融保険業の生産額割合が全地域で最も高く、北東部よりも人口増加率が低い。 | 4. 農業の生産額割合が中西部を上回って最も高く、国内総生産に占める割合は減少している。 |
|--|--|---|--|
- 問10 アメリカ合衆国の南東部において、アフリカ系住民の人口割合が高い状態が続いている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 18世紀から19世紀にかけて、綿花やタバコを栽培するプランテーションの労働力として、アフリカから多くの人々が強制的に連れてこられたため。 | 2. 第二次世界大戦後、南部地域の温暖な気候を求めて、北部工業地帯から多くのアフリカ系住民がレジャー産業に従事するために移動したため。 | 3. メキシコとの戦争によって獲得した領土に、もともと居住していたアフリカ系の人々が、そのままアメリカ合衆国の市民となったため。 | 4. 19世紀半ばにカリフォルニア州で金鉱が発見された際、鉱山労働者としてアフリカから多くの人々が自発的に移住してきたため。 |
|---|---|--|--|
- 問11 アメリカ合衆国における移民の傾向について述べた次の記述のうち、統計的な事実として最も適切なものはどれですか。なお、近年の入国者数の推移をみると、1990年代から2010年代にかけて一貫してメキシコが第1位となっており、次いで中国、フィリピン、キューバなどの国々からの流入が続いています。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 1990年代以降、ヨーロッパ諸国からの移民が全体の8割以上を占めるようになり、伝統的な文化が再構築されている。 | 2. アフリカ諸国からの入国者数が最も大きな割合を占めており、労働力不足を補う主要な要因となっている。 | 3. 地理的に近いメキシコなどの中南米諸国からの移住者が多く、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高まっている。 | 4. カナダやイギリスなど、公用語が英語である国々からの移住者が急増しており、文化の同質化が進んでいる。 |
|--|---|---|--|